



香芝市国際交流市民の会

グローバル香芝

The International Exchange Society, Global Kashiba

あの留学生は今⑩… インド タンマイ・バグウェ さん



インドから来たタンマイと申します。2019年から2020年にかけて大阪教育大学に留学しました。毎日色々なことを勉強しながら、一年にかけて様々な人たちと出会いました。日本にいる間、日本語会話力の改善と国際関係を中心にした学校生活をおくるように頑張りました。日本にいる間、日本人だけでなく、ほぼ20以上の国籍の方々と毎日交流しながら生活しました。大学にいる間、グローバル香芝の皆さんと毎週交流したり、イベントなどに参加させてもらったり、一生忘れない思い出を作っていました。それは心より感謝しております。留学が終わって、帰ってきたのは8月下旬のころでした。コロナが世界中に広がり、特にインドでは暴れています。元々は帰国した後、すぐ進学するつもりでしたが、コロナのインドに及ぼした影響を考えた上、仕事をすることにしました。日本にいる間、株や会社の経営などに興味を持つようになって、これからはファンス分野での仕事を経験しようかなと思いながらあるスタートアップで働くことにしました。経済やファイナンスをあまり知らない私には最初の一か月はかなりつらかったが、上司たちにずっと支えてもらい、仕事をうまくできるようになりました。私が属していたのはESG部という部門で、日本の会社の環境維持やガバナンスいわゆるサステナビリティ(CSR)にかかわる仕事でした。仕事の内容を一言でいえば、日本の会社などを研究して、将来、投資家に利益を与えてくれる会社の株を紹介してくれることでした。この仕事のお陰で、日本の様々な株式会社の構造や日本の投資家環境について大変学べました。また、この仕事がきっかけで、人生初めての株を買うことができました。仕事で沢山いい経験しましたが、自分の日本とファイナンスに関する知識がまだ足りていないことに気づきまして、大学院に行くことにしました。

6月のころ少数の大学院に申請しました。第一希望は京大でしたが、面接試験で落ちてしまって残念でした。だが、面白い事に、第二希望のドイツの大学院の試験を受かつて、入学できました！また、学費は免除されて、無料で勉強することになって一番嬉しく思います！これから大学院で学ぶ日本や社会に関する知識を社会や身の回りの人たちのために活用していくたいと思います。自分の存在や知識が誰かの人生をより豊かにしてあげるような行動をとていきたいと思います。

より勉強して、沢山の経験を積んで、お世話になったグローバル香芝の皆さんに恩を返せる男になれたらしいなどずっと思っています。

タンマイ・バグウェ

香芝市在住外国人数: 31ヶ国 598名

2021年9月30日現在

アメリカ:11、アルゼンチン:1、イギリス:5、インド:2、インドネシア:8、オーストラリア:1、オランダ:1、カナダ:3、韓国:210、コスタリカ:1、シンガポール:1、スウェーデン:1、スリランカ:1、タイ:9、台湾:15、中国:87、朝鮮:5、トルコ:1、ネパール:20、パキスタン:10、ブラジル:15、フィリピン:38、フィンランド:1、フランス:2、ブルガリア:6、ベトナム:124、ペルー:2、南アフリカ:1、ミャンマー:13、ルーマニア:2、ロシア:1

◇ 國際理解と援助活動

西本辰雄



オリンピックの開会式の入場行進を見て 30 年前のこと思い出しました。色鮮やかな国旗の青・白・緑を真似たユニフォームを着たシエラレオネの選手団。元気に手を振りながら 5 人の選手団が入場してきました。

西アフリカで赤道直下。平均寿命が約 51 歳、100 人中 27 人の子供が 5 歳まで生きられない。世界で一番困窮していると言われた国。

【シエラレオネの国旗】 約 30 年前にこの国との出会いがありました。アフリカで大飢饉が発生し、世界的な援助活動が高まつた時、悲惨なアフリカの現状を伝える放映があった。しかし一方で、粗末な板で囲まれた小学校で子供たちが日本の〇〇小学校〇年〇組〇〇太郎とネームの入った体操服を着て、元気に生き生きとした表情で動き回っている映像が写しだされました。日本からの援助活動として送っている物資です。

学校に来ればコップ 1 杯の牛乳が給食として支給される。それを楽しみに 10 キロも離れた遠いところからも通っている子供もいました。ほとんどの子供は裸足です。

私が勤務していた高等学校では卒業式後に教室に残された、まだ使用できるのに不要となった多くの体操服や体育館シューズが処分されていました。アフリカの現状を伝え、援助物資を送ろうと生徒たちに呼びかけ、使用できる体操服や体育館シューズ、学用品を寄付してくれました。そして、進路が決まった有志の生徒たちと一緒に集まった物資を寒い中きれいに洗濯して、箱に詰め、アフリカのシエラレオネのルンサの小中学校に送付しました。多い時は体操服約 400 着、体育シューズ 200 足、ノートなど学用品等も現地に活動する日本人修道女根岸さんに送付しました。全国の援助団体が「アフリカ友の会」に集まり、横浜から船にて送られました。

しかし、現地では不安な政治情勢や郵便事情も困難なため、毎回無事につくかどうかは心配でした。3 月に送ってから約 6 か月後に到着のお知らせが届きました。お礼のお手紙には「子供たちは上下の体操服や体育館シューズに大喜び、学校への行きかえりや日曜日の礼拝には靴を履いています。それ以外は家に大事に靴を置いている」とのことでした。シエラレオネの子供にとっては宝物のように靴や体操服を大事に使ってくれていることに感謝であり、私たちの日常生活を今一度考えさせられました。

また、200 円あれば 1 か月間の昼食のミルク代が保証されることから、ある学校では 200 円募金によって援助活動していることも知りました。

現地のお礼の手紙には自分の家や周りの風景をスケッチして、率直に自分のありがとうの気持ちを伝えてくれたものもありました。

このような援助活動を約 10 年間続けていましたが、内戦が激しくなり現地のルンサの小中学校で支援の日本人が退散をよぎなくされ、

援助活動は中断してしまいました。数年の内乱後、政情は落ち着き、民主的な政府が樹立されと聞いていました。

全国からの援助活動によって日本を知り、少しでも教育事情や生活状態が向上し、子供たちの笑顔が見られたと思います。困難な時期を乗り越え、平和の祭典のオリンピックやパラリンピックに選手が派遣されてきました。数十年前の子供たちが憧れの日本にやってきたのではないかと思ううれしい気持ちです。世界では環境問題、人種問題、平和問題、貧困問題等いろいろな問題が各地で起こっています。

平和を望む私達は身近な自分の身の回りだけではなく、世界の出来事に目を向け、知る努力が大事です。小さなことでも細い糸が世界と繋がっていることを入場行進を通じて改めて感じました。

注 国旗の配色、デザインが国内コンビニ大手とよく似ていると話題になった国です。

世界で最も医療事情が悪い国、5 歳未満児死亡率が世界で一番高い国です。それは幼い子どもが育つ環境が世界で一番きびしいです。

国民の平均寿命は 51 歳で、世界で最も短命な国のひとつです。一日 1 米ドル以下で暮らす人の比率(貧困を示す指標)は 57% にものぼります。安全な水を使える人、子供が生まれた時の出生登録、小学校就学率、おとなとの識字率のいずれの割合も低く、地域の格差、男女の差もあります。また、HIV/エイズの広がりも大きな問題となっています。

内戦・エボラ出血熱など苦難を乗り越えて今回 東京オリンピックに参加しました。国旗の緑は農業と山岳、白は正義と統一、青は貿易を通じて世界平和への貢献をしたいというこの国の希望を象徴しています。



【シエラレオネ首都のフリーマーケット】



【授業風景】

◇ ミャンマーの今

ウインウインチュエ



【タディンジュー灯りの祭り-の炎
でクーデターに抗議】

私はミャンマー出身で2010年に白鳳女子短期大学に留学生として来日し、その後、大阪教育大学で研修生として日本語の勉強を続けました。今では11年以上の日本での生活を送っています。グローバル香芝の先生方には白鳳短大の学生時代からお世話になり、現在も何人かの先生と連絡取り合い、いろいろなアドバイスをもらったり、教えてもらったりして励まされています。ミャンマーは今年の2月1日に国軍がクーデターを起こし、今では軍事政権下で8ヶ月という年月が経ちました。軍事政権を認めない国民たちの平和的抗議デモにも関わらず軍は射殺、暴行、拘束、拘束中の拷問など暴力的に解決しようとして、弾圧が続いている。民主主義に戻りたい国民は不服従運動をしたり、毎日抗議デモを行ったりして抵抗を続けています。この8か月の間に犠牲者1100人以上、拘束されている人は7000人以上に上っています。命の危険性がある国民たち、若者たちは民族武装力の元に駆け込み、身を隠し家族とも連絡が取れない状態になっています。テロリスト国軍から自分と自分の大切な人を守るために立ち向かおうとしています。軍と武装力の衝突が激しくなり、避難する人も後を絶ちません。ヤンゴンなど都会は比較的普段の日常生活を送っていますが、海外からの投資企業等も撤退を考え、実行している企業もあります。今の現状が続ければミャンマーは前より乏しい国に陥ると思います。

民主党が導く政権下では教育方針の見直しも含まれていました。今までのミャンマーの大学までの学年数は海外とかと比べ、1年少ないので、海外で大学の編入、大学院などの入学には母国の教育制度の説明に苦労していた私からしたら大喜びと今後の若者のための希望が見えてきました。それがクーデターにより、どのように変わっていくのかが分からなく不安でたまりません。また、銀行で個人のお金の引き出しはATMが使えなくなり、予約番号を受け取ってから、窓口で1日20万チャット(日本円で約1.5~2万程度)が週に1回引き出せるという事になり、予約が殺到し、なかなか取れない状況になっています。最近では1日50万チャットまでになったとのことです。

事業主は条件が異なるとのことです、それもその都度その都度変更になるとのことです。自分のお金のために賄賂を使って引き出す手段も出てきました。

コロナの第3波になった時も酸素ボンベなど取り扱う工場、事業所、ボランティア団体などに押し入り、酸素が国民の必要な時に手に届かないようになりました。高値で売買されたりもして騒然となり、そのため死者がもっと増えたと思います。

ボランティアの人たちも逮捕され療養施設も減り、医者たちも不服従運動に参加しているため、医療崩壊状態になりかなり悲劇的でした。私の義理の兄もコロナにかかりましたが、入院出来、命の危険から逃れました、それも息子が軍関係の人であつていろいろな手を使い、入院が優先されたためです。私の親族でもありますが、そのようにコネがあるから、誰々さんの偉い人のバックがあるからと言って優先される、何をしても見ぬふりをされるのは軍事政権では当たり前のことでもありました。

民主主義になり、賄賂や不正行為などの取り締まりも強化され、指導もされたので、ほとんどの場面で賄賂なしで手続きが出来るようになってきました。誰もが正々堂々と公平に人権を重視されるようになってきていました。

国民たちが民主主義に戻りたいという強い精神には上記の期待が大きいと考えられます。人権を取り戻したいのは今の我々国民の第一希望だと思います。

民主派勢力が市民に自分たちが直面している状況の中で『自衛のための戦闘』が呼びかけられ、軍と武装した市民の衝突も相次いでいます。抵抗運動は自分たちの身を守るための行動ではありますが、犠牲者がまだ増えてくると思い、心の痛みがやみません。私たち海外に居るミャンマー人は国内の様子を見守ること、支援の手を伸ばすこと、祈ることしか出来ません。母国に居る家族、親戚をはじめすべての人々の無事を祈るばかりです。

私の今一番の願い事は母国であるミャンマーが一日も早く平和で自由な日々を取り戻せることです。未来ある若者達に自分らの夢や希望に向け頑張って行ける日々になってほしいです。そのためにもミャンマーに平和と自由が早く戻ってほしいです。ミャンマー国内にある外資系会社などで働いたりして知識を増やし、自分の興味のある分野で輝いてほしい、若者たちに海外に留学に行って外国の文化、マナー、ノウハウ、などを学び母国のために明るい将来を築いてほしいです。

日本の皆様にもミャンマーに関して今まで以上に关心をもっていただき、支援、応援の手を伸ばしていただければと思います。

—メンバーヒトリゴト 70—

グローバル香芝とホームビジット

河合 貴之



「ホームビジット」

この響きを香芝市広報で目にしたのが、グローバル香芝との出会いでした。

28年前、私はオーストラリアに留学していました。有意義な学校生活を送れたのは、安心して過ごせたホームステイ先があったからです。だから、いつの日か、そのお返しを私もしたいと思っていました。ただ、現在の家庭環境や生活リズムを考慮すると、なかなかホームステイには踏み切れないでいたのです。その背中を押したのが、ホームビジットでした。

2018年、初めて、我が家にふたりの留学生を迎えるました。普段は寮で暮らしているふたりは日本の家庭での体験を楽しみ、我が家家の娘や妻は彼らの真摯な姿勢や努力に刺激を受けていました。翌年も留学生を受け入れたのは言うまでもありません。

以前、誰かが言っていました。「世界中の全ての人と友達になれば無敵」。本当にそうだなあ、と思います。私が仕事いがいにも様々な活動を展開している理由、それは、その度に出会いがあるからです。グローバル香芝も、私にかけがえのない出会いを提供してくれました。

世界中の全ての人が友達になれる日が来るまで、みんなで頑張って行きましょう。

◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。語学力や国籍に関係なく、どなたでも入会することができます。

＜会 費＞ 個人会員 年間 3,000円 ／ 賛助会員（団体） 年間 10,000円

＜月例会＞ 日 時：毎月第三水曜日(11/17、12/15、1/19、2/16、3/16、4/20) 10:00～12:00
場 所：香芝市中央公民館

◆ 申し込み・問い合わせ先

- ・香芝市役所 市民協働課：(☎: 0745-44-3314, Fax: 0745-78-3830)
- ・グローバル香芝：則松 武夫(☎: 0745-77-0968)または小椋 宏子(☎: 0745-78-3398)

e-mail: niosan3231@global-kashiba.matrix.jp までお気軽にどうぞ！

◆ ホームページアドレス

<https://global-kashiba.mahoroba.club/>

編集発行：グローバル香芝 広報部
連絡先：〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所 市民協働課
電話：0745-44-3314 Fax:0745-78-3830